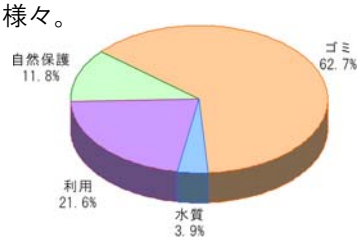
水辺のゴミや不法投棄が問題になってます

●湖岸のゴミ・不法投棄の状況

- 近年、湖岸にはゴミが漂着するほか不法投棄や廃棄された船の放置が目に付き、水辺利用や景観に悪影響を及ぼしています。
- ゴミは流域全体で発生し、河川や水路を通じて小川原湖に集まります。
- 小川原湖内では風の影響により、季節によって東岸・西岸にゴミが漂着します。

●環境美化活動

- 高瀬川流域で活動を行っている市民団体数は51団体。そのうち約63%が清掃活動等の美化活動。
- 清掃活動を行っている団体は、ボランティア団体などの小さな組織から学校や漁協、商工会等様々。



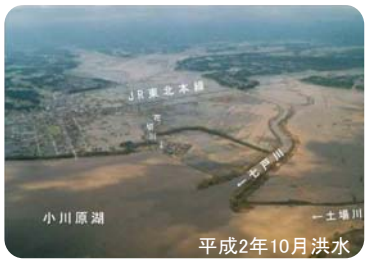
高瀬川流域内の活動団体の内訳

水害に対する備えが必要です

●過去の洪水被害

- 昭和33年9月洪水
  台風22号が関東地方を縦断し三陸沖にぬけたため、八甲田山東側と下北地方を中心に豪雨をもたらした。
  この影響で小川原湖の水位はT.P+2.79mまで上昇し、死者3人、負傷者17人、住家損害151戸、床上床下浸水2801戸と甚大な被害を被った。
- 平成2年10月洪水
  低気圧が勢力を強めながら日本を北上し、青森県内に豪雨をもたらした。
  この豪雨によって赤川、砂土路川で越水破堤したのをはじめ、各河川で氾濫が相次ぎ、内水氾濫も生じた。小川原湖の水位はT.P+1.11mまで達し、家屋半壊1戸、床上浸水143戸、床下浸水96戸に及んだ。

昭和33年9月洪水

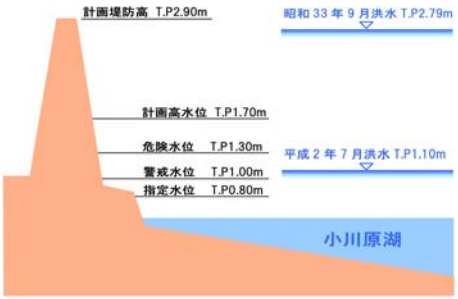


平成2年10月洪水

●水防活動演習等の実施

- 水防団と自治体、国土交通省が連携し、毎年、水防訓練や情報伝達演習、合同巡視などを行っています。
- 洪水時の危険度合いが分かるよう、警戒水位や危険水位を記した水位表の設置を行っています。

馬淵川・高瀬川水系合同水災訓練



小川原湖の危険水位等と主要洪水時水位

水位表

●浸水想定区域図・洪水ハザードマップの公表

- 小川原湖が氾濫した場合の浸水の範囲や深さを示した浸水想定区域図を作成し、公表しています。
- また東北町においては、避難場所や避難経路等を示したハザードマップを作成し、公表しています。

ハザードマップ（東北町）

浸水想定区域図